

平成27年度保健福祉部業務研究等報告会 (H28/2/9)

# 南三陸町における 協働の健康増進計画策定への支援

気仙沼保健福祉事務所(気仙沼保健所)

成人・高齢班 ○技師 渡部 和馬

技術次長(総括)佐藤 純子, 次長(班長)小野寺 敏広,  
技師 飯田 三紀子

# はじめに①

- \* **南三陸町**は、東日本大震災後、様々な支援を受ける中で、復興を進める上でも住民と協働の地域保健活動が重要と気づき、**地区活動の契機**として第二次健康増進計画策定を、**住民協働**で取り組むこととした。

## はじめに②

- \* これまでには外部委託で計画を作成していたが、初めて自らが策定を決意した町スタッフを支援する**保健所の活動と県保健師としての学び**を報告する。

# 計画の位置付け

町

町総合計画(震災復興計画)

健康増進計画  
(食育推進計画を包含)

連携

## 【関連計画】

子ども・子育て支援事業計画(H27~H31)  
高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第6期H27~H29)  
障害者計画(第2期H25~H29)  
障害福祉計画(第4期H27~H29)  
特定健康診査等実施計画(第2期H25~H29)  
データヘルス計画(H27策定予定)

## 【関連部署】

企画課、町民税務課、保健福祉課、保育所、  
子育て支援センター、産業振興課、南三陸病院、  
教育総務課、学校給食センター、生涯学習課、公民館、歌津  
総合支所町民福祉課

国

健康日本21(第2次)  
第2次食育推進基本計画

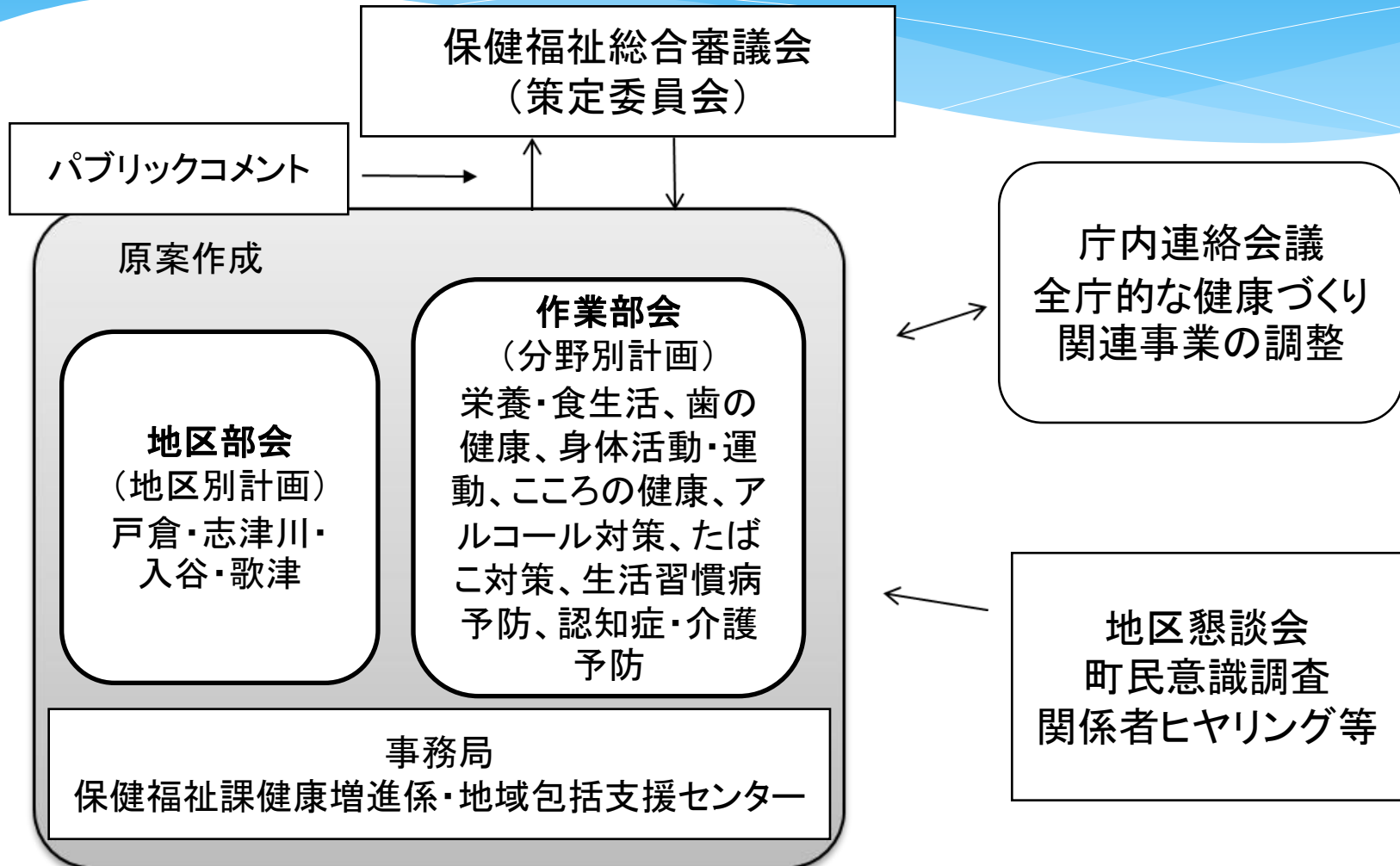
宮城県

第2次みやぎ21健康プラン  
第2期宮城県食育推進プラン

# 保健所の役割

- \* 保健所は、地域保健の広域的、専門的かつ技術的な拠点として、健康格差の縮小を図ること等を目的とした健康情報を収集分析し、地域の住民や関係者に提供するとともに、
- \* 地域の実情に応じ、市町村における市町村健康増進計画の策定の支援を行うこと。

# 町の計画策定体制



# 計画策定部会について

\* 地区部会は4地区

⇒ 戸倉・志津川・入谷・歌津

\* 作業部会は3グループに分かれて、8つの分野について検討

⇒ 栄養・食生活, 歯の健康

⇒ 身体活動・運動, こころの健康, アルコール

⇒ 生活習慣病予防, 認知症・介護予防,

たばこ対策

# 主な支援

- \* スタッフ(町・東北大学・保健所)の合意形成のための学習会, 話し合いへの参加, 資料提供
- \* スタッフ(町・東北大学・保健所)で計画策定の目的, 内容, 方法を何度も重ねて検討
- \* 計画策定のための関係者ヒアリング調査への協力
- \* 各種統計資料等の情報分析・情報提供
- \* 計画策定部会スタッフとして参加
- \* 町スタッフの日常的な相談への対応



# 今年4月からの支援について

- \* 健康づくり担当として南三陸町に行くこと、21回  
保健所として南三陸町に行くこと、34回
- \* 地域住民との打合せの前後に、町職員、東北大学とどのように協働をしていくかについて検討を繰り返した。
- \* 計画策定部会の一員として、住民や町職員と対等な立場で意見交換を進めてきた。

# 住民との協働の場面で心掛けたこと

- \* 計画策定は、地域住民や地域を**エンパワメントするツール**であること。
- \* 計画策定後の、地区住民の役割と町職員の役割を意識。
- \* 住民の自由な意見が出されるような話し合いの進め方や情報の提示の仕方を意識。

# 地域住民の力ってすごい①

- \* 地域住民と地区の現状について情報共有し、意見交換をした際に、
- \* 「何のための健康づくりかという周知が不足している。」
- \* 「町で毎日ラジオ体操をすることが当たり前になれば良いよね。」
- \* という発言があり、地域での健康づくりに関して意識を高くもっていると感じた。

# 地域住民の力ってすごい②

- \* 健康増進計画案を提示したときには、
- \* 「声を掛けてくれれば、一緒にやるよ。やるときは声かけて。」
- \* 「参加した私たちから広めて行ければいいんですよね。」
- \* との発言もあり、地域住民と手を組んで今後の保健活動を実践していけると感じた。

# 町の職員もすごい

地域住民の  
暮らしぶり

地域住民との  
つながり

住民同士の  
人脈

地域の  
被災状況

地域の  
復興状況

地域の  
社会資源

\* 地域の良さを一番よく知っている。

# 県の保健師は①

## 【健康に関する情報の収集分析及び提供】

- \* 他の地域や圏域と比べてどうなのかという視点。統計データの見方等。
- \* 先駆的な活動をしている事例の提供。

## 【円滑な進行管理や評価】

- \* 計画策定におけるスケジュールや計画策定における必要な手続きの段取り。

## 県の保健師は②

### 【協働による健康づくりを推進する役割】

- \* 同じ内容について話せるように、相手にも分かりやすい情報の伝え方。
- \* 対等な立場で話しが出来るようなファシリテート。
- \* 話し合われた意見をまとめるための枠組みの提示。

# 考察①

- \* 協働により健康増進計画策定への支援を行う中で、**地域住民の力**を感じる事ができた。
- \* **協働**の中で**地域住民**はさらに**エンパワメント**され、健康増進計画を普及する**役割を自主的に担う**ようになった。



## 考察②

- \* **町の職員は**これまでの個別支援を通じた地域住民とのつながりや地区活動を通して、地域の現状をよく把握しており、今回の計画策定事業でも**地域住民同士のつながりを活かした支援**を実践していた。

## 考察③

- \* 協働の健康増進計画策定への支援を振り返り、県の保健師として求められている役割について感じる事が出来た。しかし、その役割を十分に達成出来ていない部分もあり、今後の町への支援の課題であると考えられた。

# 南三陸町第2期健康づくり計画 について

- \* 分野別計画と地区別計画ともに、部会で出された意見，大事にしたい視点が盛り込まれた内容となっている。
- \* 地区別計画では，地区毎の特徴（社会資源やコミュニティ）を活かした目標や取組となっている。

## 基本理念

こころもからだも健やかで「おでって」「えがお」あ  
ふれるまち みなみさんりく

## 基本方針

方針1:こどももおとなも **ともに参加する** 健康づくり

方針2:こどももおとなも **ともにつながる** 健康づくり

方針3:こどももおとなも **ともにつくる** 健康づくり

# 地域における計画の推進体制

(仮称)健康づくり隊合同連絡会

```
graph TD; A["(仮称)健康づくり隊合同連絡会"] --- B["戸倉地区健康づくり隊 (仮称)"]; A --- C["志津川地区健康づくり隊 (仮称)"]; A --- D["入谷地区健康づくり隊 (仮称)"]; A --- E["歌津地区健康づくり隊 (仮称)"];
```

戸倉地区  
健康づくり隊  
(仮称)

志津川地区  
健康づくり隊  
(仮称)

入谷地区  
健康づくり隊  
(仮称)

歌津地区  
健康づくり隊  
(仮称)

【役割】健康づくり計画の推進(事業の企画・実施・評価など)

【構成員】**保健福祉推進員**、地区内の関係団体、地区住民、行政など

# 最後に①

- \* 健康増進計画策定への支援として、何回も町に出向き、町のスタッフや地域住民と共に悩み考えながら計画策定を進めていったことがとても重要なプロセスであったと感じている。

## 最後に②

- \* 地域住民の力を活かしながら，南三陸町の健康増進事業を支援できるよう，県の保健師としての役割を意識し，保健所に求められる役割を果たせるよう，精進して行きたい。